2022年度以降の海外の主な福祉・介護機器 関連展示会 開催情報

本会では、現地の主催者やWebサイトから収集できた情報をもとに、2022年度以降に 開催を予定している海外の福祉・介護機器関連展示会の開催情報を下表にまとめました。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、情報に変更が生じている場合がございます。 詳細は各問い合わせ先にご照会くださいますようお願いいたします。



開催情報の見方 (2022年1月現在)

開催地域						
展示会名	会期					
	開催都市・国名 会場	問い合わせ先 URL	出展製品・開催規模 (公表分のみ)			

欧州					
ALTENPFLEGE	2022/4/26~28				
	エッセン・ドイツ Essen Exhibition Center	Vincentz Network GmbH & Co. KG https://www.altenpflege-messe.de/	<出展製品>介護従事者教育/介護技術/福祉機器/介護用品/介護食関係/家庭用・施設用福祉設備/衛生管理製品/IT&マネジメント関連製品など<開催規模>(2021) 来場:約24,000人 出展:約200社		
SANTEXPO	2022/5/17~19				
	パリ・フランス Paris Expo - Pavilion 1	PG Organisation https://www.parishealthcareweek.com/en/	<出展製品>福祉機器/医療機器/施設用設備/通信技術 <開催規模>(2021)来場:22,500人 出展:約550社		
REHAB	2022/6/23~25				
	カールスルーエ・ドイツ Karlsruhe Exhibition Center	Karlsruher Messe- und Kongress-GmbH https://www.rehab-karlsruhe.com/de/	<出展製品>福祉機器/リハビリテーション/介護予防機器/介護用品など <開催規模> (2019) 来場:18,500人 出展:468社 展示面積:40,000㎡		
Naidex National	2022/7/6~7				
	バーミンガム・英国 NEC, Birmingham	ROAR B2B Limited https://www.naidex.co.uk/	<出展製品> 福祉サービス従事者/障害者、高齢者のための福祉機器 <開催規模>(2021) 来場:8,000人以上 出展:200社		
REHACARE	2022/9/14~17				
国際リハビリテーション・ 福祉・介護機材展	デュッセルドルフ・ドイツ Messe Düsseldorf	(株) メッセ・デュッセルドルフジャパン Tel: 03-5210-9951 Email: mdj@messe-dus.co.jp https://rehacare.messe-dus.co.jp/home	<出展製品>リハビリと介護におけるイノベーティブな製品/新たに開発された製品/リハビリ、介護に関するサービス全般 〈開催規模>(2019) 来場:38,600人 出展社:43ヵ国・751社		
MEDICA+COMPAMED	2022/11/14~17				
国際医療機器・ 医療機器部品展	デュッセルドルフ・ドイツ Messe Düsseldorf	(株) メッセ・デュッセルドルフジャパン Tel: 03-5210-9951 Email: mdj@messe-dus.co.jp https://medica.messe-dus.co.jp/home	<出展製品>電子医療装置・機器/実験・研究装置/救助及び救急装置/診断機/診断薬/整形外科/病院用備品/IT関連/衣料品/医療家具及び装置/サービス/出版 <開催規模>(2020オンライン開催)来場:45,000人 出展:1,500社		
Health & Rehab	2023/5/23~25				
Scandinavia	コペンハーゲン・ デンマーク Bella Center	Health & Rehab Scandinavia https://www.health-rehab.com/	<出展製品> 障害者のための福祉機器、デザイン <開催規模>(2021) 来場:8,500人 出展社:220社		
北米					
Medtrade WEST	2022/4/4~ 6				
Mediade WEST	フェニックス・米国 Phoenix Convention Center	Emerald X, LLC. http://www.medtrade.com/index2/	<出展製品>介護食品/義肢・装具/入浴用機器/薬品関係/手術器具/ 医療機器/家庭介護製品		
Medtrade EAST	2022/10/24~26				
	アトランタ・米国 Georgia World Congress Center	Emerald X, LLC. http://www.medtrade.com/index2/	<出展製品>介護食品/義肢・装具/入浴用機器/薬品関係/手術器具/ 医療機器/家庭介護製品 <開催規模>(2021) 出展:163社		
アジア・中東					
Arab Health	2022/1/24~27 ※オンライン 1/25~2/28				
	ドバイ・ アラブ首長国連邦 Dubai World Trade Centre	Informa Markets https://www.arabhealthonline.com/en/Home.html	<出展製品>医療機器/消費財/画像診断/ウェルネス、ヘルスケアサービス/ITシステム/理学療法/リハビリテーションヘルスケアのイノベーションハブ <開催規模>(2021)出展: 2,751社		
Assistive Technology for Life (ATLife)	2022/5/12~15				
	台北·台湾 台北南港展覧館 (TaiNEX)	Chan Chao International Co., Ltd. https://www.chanchao.com.tw/ATLife/en/	<出展製品>移動用・家庭内用・コミュニケーション用補助機器、リハビリ・ リクリエーション関連用品 <開催規模>(2021) 来場: 91,965人 出展: 200社		
CHINA AID 上海国際福祉機器展	2022/5/31~6/2				
	上海・中国 上海新国際博覧 センター (SNIEC)	Shanghai Intex Exhibition Company Co., Ltd. http://www.china-aid.com/ja (日本語サイト)	<出展製品>リハビリ、高齢者介護、介護、補助器、高齢者向け住宅、健康管理における最新のサービスと製品 <開催規模>(2021) 来場:40,000人 出展:403社 会場面積:40,000㎡		



MEDICAL TAIWAN	2022/6/16~18				
	台北·台湾 台北南港展覧館 (TaiNEX)	台湾貿易センター東京事務所 Tel: 03-3514-4700 Email: tokyo@taitra.org.tw https://tokyo.taiwantrade.com/ (日本語サイト)	<出展製品>医療機器、医療消耗品、リハビリ・健康福祉機器、診断用機器、医療サービス関係、移動用機器、高齢者と障害者のための日常生活補助器具、移動補助器具、ホームケア製品、美容・レクリエーション関連用品、施設サービス関連用品 会開催規模>(2021) 出展: 200社		
初開催	2022/9/1~3				
REHACARE SHANGHAI 中国国際 リハビリテーション・福祉・ 介護機材展	上海・中国 上海新国際博覧 センター (SNIEC)	メッセ・デュッセルドルフ (上海) 有限公司 (MDS) https://www.mds.cn/	<開催規模>来場:約8,000人見込 出展:100社以上		
Care & Rehabilitation	2022/9/15~17				
Expo China 中国国際リハビリテーション 博覧会	北京·中国 Beijing National Convention Center	Guangzhou Poly Jinhan Exhibition Co., Ltd. https://www.crexpo.cn/jp/ (日本語サイト)	<出展製品>リハビリ施設設備/義肢、矯正器及び関連製品/医療用補助具/移行用補助具/歩行補助用具/生活補助具/在宅用補助具/視聴補助具/情報コミュニケーション補助具/通信介護電子設備/ウェアラブル型リハビリテーションロボット/健康管理システム/福祉車両/スロープ、手すり/エレベーター、リフティング/警告マーク、装置/設計企画<開催規模>(2021)来場:30,000人以上出展:200社以上		

TOPICS

一 令和2年度介護労働実態調査 一

事業所におけるICT機器の導入・活用状況とコロナ禍における導入促進

公益財団法人介護労働安定センターが行った「令和2年度介護労働実態調査」のデータのなかで、「ICT機器の導入と活用」についてのデータ(令和3年8月公表)を抜粋してご紹介します。

この調査は、9,183事業所から回答を得ており、全体と介護保険サービス5系型(「訪問系」「施設系(入所型)」「施設系(通所型)」「居住系」「居宅介護支援」)で分類しています。

「ICT機器」に関する設問は、令和2年度調査で新たに加わったものです。【表1】 のように、ICT機器の活用状況としては「パソコンで利用者情報(ケアプラン、介護記録等)を共有している」が 50.4%で最も多いという結果でした。続いて「記録から介護保険請求システムまで一括している」が39.1%、「タブレット端末等で利用者情報(ケアプラン、介護記録等)を共有している」 22.0%でした。一方で、「いずれも行っていない」と回答した事業所は25.8%となっています。

また、介護労働安定センターでは令和2年度特別調査として「新型コロナウイルス感染症禍における介護事業所の実態調査」を実施しています。(令和3年7月公表)

この調査は令和2年12月から令和3年1月にかけて、「感染多数地域(北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県)」「感染少数地域(岩手県、島根県)」の合計7都道府県内の介護保険サービス事業所を対象に実施され、1,240件の回答を得ています。

その調査によると、令和2年3月以降から令和3年1月時点において、コロナ禍への対応策として「新たにICT機器を導入した」事業所が**44.8%**にのぼっています。

導入した情報通信技術 (ICT) の内容【表2】については、回答事業所全体で「オンラインミーティングツールによる会議」が25.5%で最も高いという結果でした。介護保険サービス分類別でみると、「施設・居住系」では「オンラインミーティングツールによる利用者とご家族の面会」が34.4%で、導入割合が大

(%) 事業所内の報告・ 介護記録等)を共有してパソコンで利用者情報(記録から介護保険請求システム 他事業者と連携している 情報共有システムを用 の他 括している ループウェア等のシステムで も行っ したシステムを利用している算、シフト管理、勤怠管理を 端末等で利用者情報 介護記録等) · 連絡 やり取りするためのシ連携によりケアプラン ている(ケアプラン) 相談を行っ を共有し ている システ 50.4 39.1 22 11.8 8.2 訪問系 2.759 47.4 36.9 22.4 18.6 18.8 15 0.9 8.2 施設系 (入所型) 1,480 68.2 51.9 29.3 25.2 11.3 6.1 0.6 15.1 7.4 施設系 (通所型) 3.051 46.1 36.3 19.6 14.9 12.1 9.9 1.1 29.7 7.2 居住系 3.5 11.4 39.8 17.5 16.9 13.7 8.6 0.9 36.4 居宅介護支援 773 58.9 55.9 22.4 14.6 10.2 12.5 13.8 0.4 17.2 6.3

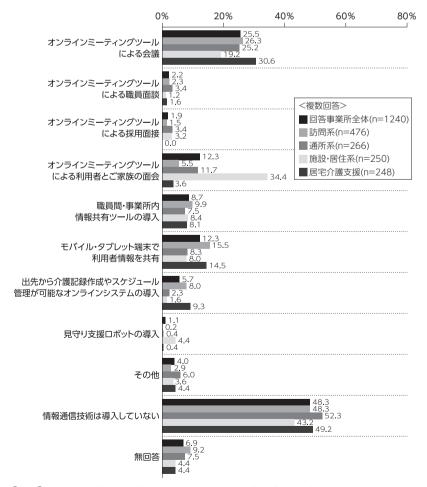
【表1】 ICT機器の活用状況 (複数回答) (介護保険サービス系型別)

きいことがうかがえます。「モバイル・タブレット端末で利用者情報共有」では、「訪問系」が15.5%導入したという結果でした。

労働者からみたICT導入の良い効果としては「業務効率があがった」点が「施設・居住系」を除いては2割以上評価されています。また、前述のようにオンラインツールによる面会を導入したという回答が多い「施設・居住系」においては、「対面できない利用者や家族の不安軽減につながった」が4割近い評価を得ています。

一方、悪い効果としては「利用する職員と利用しない職員にわかれている」が全体で18.7%、「現場で使いこなせておらず、むしろ業務負担となっている」が9.9%という結果でした。

こうした結果をふまえ、介護労働安定センターは、今般の新型コロナウイルス 禍が介護施設事業所におけるICT導入・拡大を促したこと、今後、コロナ禍収束 後もICT機器の活用を広げる取り組みは必須のものであるとまとめつつ、導入に は急を要した面があり、「今後さらなるICTの展開・拡大には介護職員のITリテラシーを高めるための方策が必要である」という課題を指摘しています。



【表2】 新たに導入・実施した情報通信技術 (ICT) の活用 (2020年3月~2021年1月現在) (介護保険サービス分類別) (事業所調査)

(出典:(公財)介護労働安定センター)